

11月18日のLHRでは3年生は、卒業アルバムの全体集合写真とクラス写真撮影をしていました。校長室前の前庭に集合し、屋上



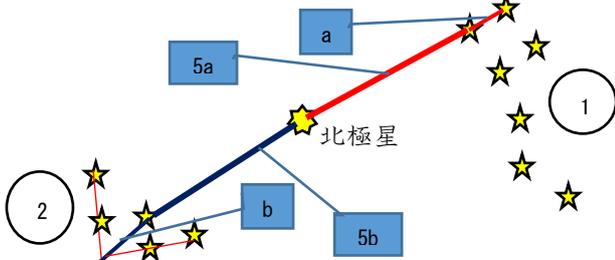
からの撮影です。この後体育館屋上部分や渡り廊下、本館屋上など思い出の場所でクラスごとに撮影。写真を写す時だけはマスクを外して笑顔での撮影でした。多くの行事が中止となり、思いは複雑だったと思いますが、少し柔らかな表情で撮影に臨む姿が印象的でした。



1年生は、兵庫教育大学の海外からの留学生の皆さんが来られ、それぞれの国の紹介をしていただき、国際交流の時間となりました。フィリピン、中国、マラウィ、マレーシアから来られた方々です。英語での説明だったので、耳を澄まして聞き入り、ジェスチャーやパワーポイントによる説明で理解を深めていました。

2年生は修学旅行の打ち合わせをしていました。1月に実施予定ですが、現在の新型コロナ感染拡大を受けて内容変更を検討中です。高校生活一番大きな行事ですので、何とか実施はしたいと考えていますが、観光部分の内容を変更し、スキー実習の時間を増やしたり、部屋の人数を減らしたり、バスの台数を増やしたりと実施の方向で進めています。詳細は、学年から連絡させていただきますが、ご不明な点やご相談などありましたら学校までご連絡ください。

さて、左の図は見たことある方も多いと思いますが、北極星をどのように探すのかということで、北斗七星(①)とカシオペア座(②)を利用するというものです。ひしゃく型の北斗七星のひしゃく部分の2つの星を結んだ線を約5倍したところ及びカシオペア座のWの延長線の交点と真ん中の星を結んだ線を約5倍したところに北極星があり、北の方角がわかるというものです。生徒の皆さんなら部活動をしている人は最近では、真っ暗な状況かと思いますが、自転車で乗りながら見るのは危険ですが、家に帰りついた時や学校を出る時など北の空を見上げてみてください。私は、朝早く散歩するので、散歩のときに見上げると夏ほど湿度がなく空気が澄んでいるのでとても綺麗に星が見えます。星座の勉強は小学4年生の理科の授業で出てきますが、見上げるたびに小学校の時の授業が思い出されます。学んだことを実際に見た時の喜びが思い出されてとても気持ちが和らぎます。同時に南の空にはこの時期にはオリオン座がくっきりと見え、冬の大三角(オリオン座のベテルギウス・おおいぬ座のシリウス・こいぬ座のプロキオン)など綺麗な星空に心が癒され、気持ちが切り替わる瞬間です。うまくいかない時や悩んだ時など気分転換を図るにはもってこいです。一度見上げてみてください。「あれはなんていう星かな」から始まって興味がわいてきますよ。



右の写真は、全国高校生料理コンクールで生活科学科3年柏木さんが「岩津ねぎとりんごのリンツァートルテ」でアイデア賞を、同じく3年尾崎さんが「三草茶冷製生パスタ〜桃ジャムソース添え」で佳作を受賞した際に送られた商品を映したチラシです。また右側の写真は17日の「かとう和食給食の日」にちなんで生活科学科1・2年生が作成したポスターで、加東市内の小中学校の各クラスに掲示されています。生活科学科の活動も地域に認められ、また全国的にも評価を高めるなど卒業生も含め、生徒たちの頑張りが継続されているのを感じます。

そしてよいよ11月も下旬になります。2学期のまとめをしっかりできるよう頑張りましょう。

そしてよいよ11月も下旬になります。2学期のまとめをしっかりできるよう頑張りましょう。

